

2026

MANA BIHAKU ROOM

芦屋市立美術博物館
アートスタディプログラム

まなびはくルーム

美術家や専門家、学芸員と一緒に、
美術や歴史の面白さ、楽しさ、難しさなどを
発見する講座やワークショップを開催します。
内容や申し込み方法など、
詳しくは当館HPや各イベントにあわせて
発行するチラシをご確認ください。

*都合によりスケジュールが変更になる場合がございます。
ご了承ください。

《お申込み方法》

- A、D、E、Fは事前申込みが必要です。
- 申込期間をご確認の上、メールかお電話にてお申込みください。
- 応募者多数の場合は抽選となります。

◎ 芦屋市立美術博物館「まなびはくルーム」係
TEL 0797-38-5432
E-mail: ashiya-bihaku@shopro.co.jp

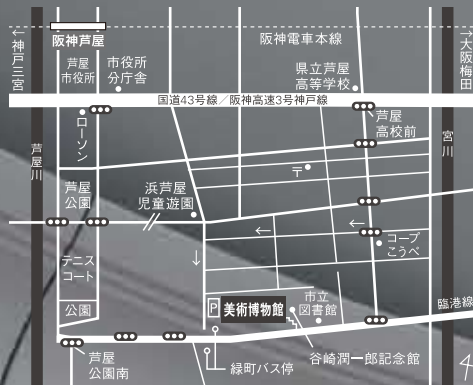
《アクセス》

阪神芦屋駅・JR芦屋駅・阪急芦屋川駅から阪急バス乗車、
「緑町」停留所下車徒歩3分

◎バスのりば

- 阪神芦屋駅 ①のりば(南向き)…系統1「新浜町」行き
- JR芦屋駅 南口のりば…系統8「芦屋浜営業所前」行き
北側⑤のりば…系統1「新浜町」行き
- 阪急芦屋川駅 ①のりば…系統1「新浜町」行き

※併設駐車場1時間無料



芦屋市立美術博物館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25
ashiya-museum.jp



まなびはく講座

A. 目をつける

講師: 荒木 悠
アーティスト
映画監督

日時: 6月20日(土) 13:00-16:00

場所: 当館 体験学習室

対象: 15名(どなたでも) 参加費: 無料

申込期間: 5月1日(金)-6月6日(土)

「観察」を軸に映像作品を作ってきたアーティストとともに、身の回りのモノを媒介に自己を探ります。何かに丁寧に着目することで生まれる新たな存在感。モノとの関係を結び直すことで現れる「もう一人の自分」。その揺らぎのなかで出会い、対話する創造的なワークショップです。

B. 美術館を雑種にする

講師: 成相 肇
東京国立近代美術館主任研究員

日時: 9月6日(日) 14:00-15:30

場所: 当館 講義室

対象: 80名(どなたでも) 参加費: 無料

*事前申込不要。直接会場へ

これまで自分のプロフィールに、「マンガ、大衆誌、広告ほか雑種的な複製文化と美術を交流させる領域横断的な展覧会を企画」とか、「ファインアートとその周縁に流動する視覚文化を調査研究」などを書いてきました。雑種や周縁に属するものにずっと関心を寄せながら学芸員としてやってきたこと、そのなかで考えてきたこと、これからやろうとしていることをお話します。(成相)

C. 前衛美術の／と女性作家たち

講師: 光田由里
多摩美術大学教授
アートアーカイヴセンター所長

日時: 12月12日(土) 14:00-15:30

場所: 当館 講義室

対象: 80名(どなたでも) 参加費: 無料

*事前申込不要。直接会場へ

数多くの女性アーティストが様々な活躍する現代の状況は、先人たちの努力の成果かもしれません。1950年代から80年代までを振り返るなら、前衛美術をめざすとき、女性たちは壁や障害を経験せずにはいられませんでした。美術を学ぶ場所でも、作家活動で団体やグループに加わればそこでも、生活の場はもちろん、評価されるならなおさら、女流という枠内に閉じ込められてしまう。それでもなお生み出されてきた素晴らしい作品を紹介しながら、その背景と作者について考えることを試みます。

びはくルーム ワークショップ

D. 絵具をつくる

講師: 柴田正見
ホルベイン画材株式会社

日時: 8月8日(土) 14:00-16:00

場所: 当館 体験学習室

対象: 10名(中学生以上) 材料費: 1,100円

申込期間: 7月1日(水)-7月24日(金)

絵具についてのお話を伺った後、自分の手で材料を練る絵具づくりを体験します。

絵具の成分や発色・定着のしくみを知ることにはきっと、魅力的な作品づくりの第一歩になるでしょう。大阪発祥の総合画材メーカー・ホルベイン画材株式会社のご協力による企画です。

E. 鳥瞰図を描いてみよう

講師: 青山大介
鳥瞰図絵師

日時: 10月17日(土) 13:30-15:30

場所: 当館 講義室

対象: 20名(小学3年生以上) 参加費: 無料

申込期間: 9月1日(火)-10月3日(土)

鳥瞰図とは「Bird's-eye view」すなわち「鳥の視線で見た景色」の図です。その第一人者・青山大介さんは、等角投影図法による遠近感を伴わない鳥瞰図の技法によって、神戸をはじめ刻々と変化する都市の姿を描き続けています。今回は青山さんの制作についてお話を伺ったあと、鳥瞰図の技法で当館の建物を描いてみます。

F. かたちを重ねる『カラーグラデーション』

講師: 城 愛音
画家
京都市立芸術大学非常勤講師

日時: 11月8日(日) 13:00-16:00

場所: 当館 体験学習室

対象: 20名(小学1年生以上)

材料費: 1,000円

申込期間: 9月1日(火)-10月24日(土)

画家の城 愛音さんは、身近な人物の何気ない一瞬を、鮮やかな色彩のグラデーションと絵具のストロークの集積の中に描き出す作品を手掛けています。今回は城さんと一緒にキャンバスを支持体に絵具と刷毛を使い描きます。グラデーションやマスクングの手法を用いて、絵具のレイヤー(重なり)がある絵画作品を制作するワークショップです。